

⑰東松山市正代(九十九川水門下流)維持修繕(越辺川左岸 7.4k付近)【工事概要】

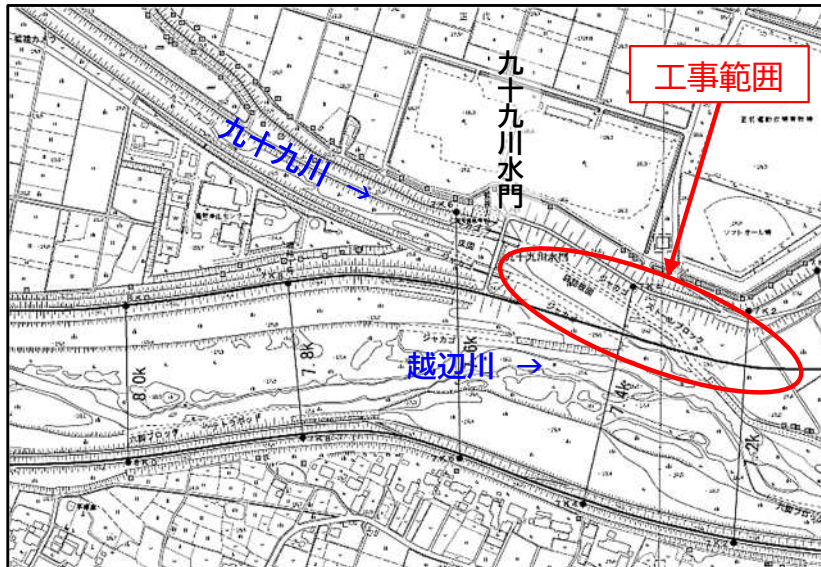
斜め写真



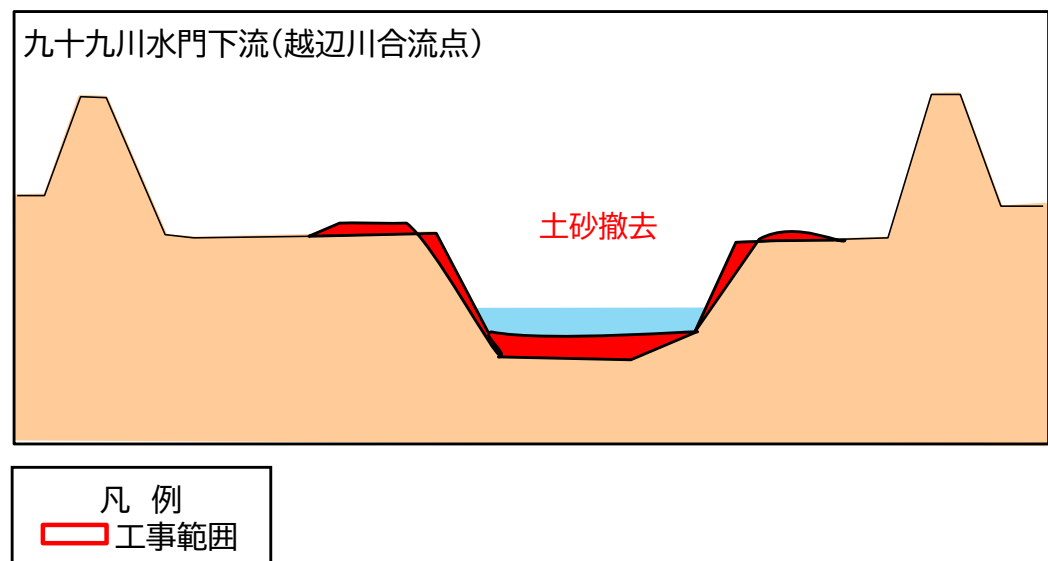
○着 手:令和4年4月
○完了予定:令和5年3月末

※上記期間で施工時期調整

平面図



標準断面図



工事の目的

施設機能を維持するため施設下流側の堆積土砂撤去。



「R3 荒川上流水辺現地調査(基図)業務 報告書」の植生図データより



写真① 九十九川水門から下流方向



写真② 堤防から越辺川方向

主な環境情報

- ・調査範囲内は、主に草地で構成されている。
- ・高水敷の草地は、主にオギ群落のほか、水辺などに生育するツルヨシ、ウキヤガラ、マコモ、ヒメガマなどの湿生草本群落で構成されており、草本群落にはヤナギ類などの低木が点在する。九十九川と越辺川の合流付近では、マダケ林がみられる。
- ・高水敷の草地や水辺では、重要種(植物)が確認されている。

環境への配慮

- ・工事は、多自然川づくりに基づいた設計を行い、施工は、低振動・低騒音など環境配慮を実施する。
- ・工事施工範囲周辺で確認された重要種や在来種情報については、工事施工時に踏み荒らしなどをしないように施工業者と情報を共有する。